

D. 様式

a. 情報収集に関する様式

1. 職員参集状況報告書（災害対策本部集計用）

職員参集状況報告書(災害対策本部集計用)

課	課長 又は 長	所 属 員 数	部	日 時 分				日 時 分			
				計	課長 補佐	係 長	課 員	計	課長 補佐	係 長	課 員
危機管理課			事務局								
企画課											
総務課											
税務課											
債権管理課											
会計室											
議会事務局											
都市計画課			社会基盤部								
土木課											
営繕課											
上下水道課											
産業環境課 (可燃ごみ中継センター)											
健康福祉課			住民福祉部								
保険課											
こども課 (福祉会館)											
教育総務課			教育避難 支援部								
地域学校教育課											
協働推進課											
住民課 (郷土資料館)											
播磨幼稚園			幼稚園等								
蓮池幼稚園											
播磨西こども園											
播磨小学校			小学校								
蓮池小学校											
播磨西小学校											
播磨南小学校											
播磨中学校			中学校								
播磨南中学校											

3. 概況被害状況チェックリスト(風水害)

概況被害状況チェックリスト(風水害)
急を要する場合は、口頭で報告してください。

記入者氏名： _____

記入時刻： _____ 年 _____ 月 _____ 日
 _____ 午前・午後 _____ 時 _____ 分

項 目	内 容
自宅の状況 (災害発生時に 自宅にいた場合)	風による被害 <input type="checkbox"/> 家屋の振動を感じた <input type="checkbox"/> 家屋の揺れを感じた <input type="checkbox"/> 家屋の被害 (被害の内容: _____) 水による被害 <input type="checkbox"/> 床下浸水 <input type="checkbox"/> 床上浸水 <input type="checkbox"/> その他 (被害の内容: _____)
負傷者の発生	<input type="checkbox"/> 軽傷者有 <input type="checkbox"/> 重傷者有 → <input type="checkbox"/> 病院へ搬送済み (住所、氏名等: _____) <input type="checkbox"/> その他 (_____)
屋外の状況	<input type="checkbox"/> 公共建造物の破損・破壊 (公共建造物名: _____) (破損・破壊状況: _____)
	道路の状況 <input type="checkbox"/> 側溝から溢水 <input type="checkbox"/> 冠水 <input type="checkbox"/> 通行不可 (冠水、通行不可の場所: _____) <input type="checkbox"/> 街路樹倒壊 <input type="checkbox"/> カーブミラーの倒壊
	危険物等の状況 <input type="checkbox"/> 看板等の飛散 <input type="checkbox"/> 電線切断 <input type="checkbox"/> 電柱・街灯倒壊 <input type="checkbox"/> フェンス等の倒壊
	住家の状況 <input type="checkbox"/> 窓ガラス破損 <input type="checkbox"/> 屋根・壁に亀裂、剥落 <input type="checkbox"/> 傾斜 <input type="checkbox"/> 倒壊
	河川・ため池等の状況 <input type="checkbox"/> 溢水 (場所: _____)
	浸水状況 <input type="checkbox"/> 床下浸水 (発生場所: _____) <input type="checkbox"/> 床上浸水 (発生場所: _____)
ライフライン の状況	<input type="checkbox"/> 停電 (確認地域: _____) <input type="checkbox"/> その他 (_____)
その他	<input type="checkbox"/> 火災発生 (発生場所 (地域): _____) <input type="checkbox"/> 生理め発生 (発生場所 (地域): _____) <input type="checkbox"/> 橋梁被害 (発生場所: _____) <input type="checkbox"/> その他 (_____)

※自宅、参集途中で確認できた項目にレ印、必要事項を記入してください。

4. 概況被害状況チェックリスト(地震)

概況被害状況チェックリスト(地震) 急を要する場合は、口頭で報告してください。

記入者氏名： _____

記入時刻： _____ 年 _____ 月 _____ 日
午前・午後 _____ 時 _____ 分

項目	内容
自宅等の状況 (災害発生時に 自宅にいた場 合)	自宅 <input type="checkbox"/> 損傷なし <input type="checkbox"/> 壁や屋根の損傷 <input type="checkbox"/> テレビ、食器棚、タンス等が倒壊 <input type="checkbox"/> 柱の傾き、家屋の倒壊 家族 <input type="checkbox"/> 異常なし <input type="checkbox"/> 軽傷者有 → <input type="checkbox"/> 対応済み <input type="checkbox"/> その他) <input type="checkbox"/> 重傷者有 → <input type="checkbox"/> 病院へ搬送 <input type="checkbox"/> その他)
住民の状況	<input type="checkbox"/> 軽傷者有 <input type="checkbox"/> 重傷者有 → <input type="checkbox"/> 病院へ搬送 (住所、氏名： _____) <input type="checkbox"/> その他 (_____)
	<input type="checkbox"/> 屋外へ飛出し混乱している <input type="checkbox"/> 避難を開始している <input type="checkbox"/> 救助を求めている → <input type="checkbox"/> 対応済み <input type="checkbox"/> その他 (_____) <input type="checkbox"/> 渋滞が発生している (発生場所： _____) <input type="checkbox"/> その他 (_____)
屋外の状況	<input type="checkbox"/> 公共建造物の破損・破壊 (公共建造物名： _____) (破損・破壊状況： _____)
	道路の状況 <input type="checkbox"/> 表面の波打 <input type="checkbox"/> 液状化 <input type="checkbox"/> 地割 <input type="checkbox"/> 街路樹の倒壊 <input type="checkbox"/> 信号機の不通 (場所： _____)
	危険物等の状況 <input type="checkbox"/> 看板の散乱 <input type="checkbox"/> 電線の垂下 <input type="checkbox"/> 電柱・街灯の倒壊 <input type="checkbox"/> ブロック塀の倒壊 <input type="checkbox"/> 自動販売機の倒壊
	住家の状況 <input type="checkbox"/> 窓ガラスの破損 <input type="checkbox"/> 屋根・壁に亀裂、剥落 <input type="checkbox"/> 傾斜 <input type="checkbox"/> 倒壊
ライフラインの 状況	<input type="checkbox"/> 停電 (確認地域： _____) <input type="checkbox"/> ガス臭 (確認地域： _____) <input type="checkbox"/> 漏水 (確認地域： _____)
その他	<input type="checkbox"/> 火災発生 (発生場所 (地域)： _____) <input type="checkbox"/> 生理め発生 (発生場所 (地域)： _____) <input type="checkbox"/> 橋梁被害 (発生場所： _____) <input type="checkbox"/> その他 (_____)

※自宅、参集途中で確認できた項目にレ印、必要事項を記入してください。

5. 庁舎緊急報告

庁舎緊急報告

災害名 _____

報告日時	年 月 日 時 分
市町村名	
報告者名	

事務所名 播磨町役場

災害の概況	発生場所	発生日時	年 月 日 時 分
被害の状況	事務所の被害状況	人的被害が出ている	はい ・ いいえ
		事務所での執務が不可能である	はい ・ いいえ
		電気が停電している	はい ・ いいえ
		水道が断水している	はい ・ いいえ
		電話（NTT）は不通である	はい ・ いいえ
		衛星通信は不通である	はい ・ いいえ
	近所の被害状況	人的被害が出ている	はい・いいえ・不明
		家屋、壁、広告塔、電柱に被害が出ている	はい・いいえ・不明
		木造建物倒壊率（推定）	% ・ 不明
		火災が発生している	はい・いいえ・不明
応急対策の状況・特記事項	応援の必要(推定)	地元防災力で対応できないと推定できる	はい・いいえ・不明

6. 災害報告及び対策処理票

災害報告及び対策処理票

受付番号	第 号 受付者氏名
受付日時	午前 年 月 日 時 分 午後
受信種別	電話・無線・口頭・伝言・その他 ()
通告者	住所 氏名 電話 FAX
通告内容	
調査報告事項	
調査報告者	所属 氏名
	所属 氏名
指示 (未・済)	
	未処理 処理済 月 日 時 分 確認者氏名

7. 浸水世帯調査表

浸水世帯調査表

自治会名：

	氏名	世帯人数	住所	浸水状況	消毒	備考(住家・非住家の別)
1				床下・床上	要・不要	
2				床下・床上	要・不要	
3				床下・床上	要・不要	
4				床下・床上	要・不要	
5				床下・床上	要・不要	
6				床下・床上	要・不要	
7				床下・床上	要・不要	
8				床下・床上	要・不要	
9				床下・床上	要・不要	
10				床下・床上	要・不要	
11				床下・床上	要・不要	
12				床下・床上	要・不要	
13				床下・床上	要・不要	
14				床下・床上	要・不要	
15				床下・床上	要・不要	
16				床下・床上	要・不要	
17				床下・床上	要・不要	

9. 家屋被害発生状況

家屋被害発生状況

自治会	住所	世帯主名	世帯人員	分現在)	住家		非住家		その他	備考	
					全・大規模 一部損壊	全・半焼	床上・下	全・半壊			全・半焼
					全・大・半・ 一部	全・半	床上・下	全・半壊	全・半	床上・下	
					全・大・半・ 一部	全・半	床上・下	全・半壊	全・半	上・下	
					全・大・半・ 一部	全・半	床上・下	全・半壊	全・半	上・下	
					全・大・半・ 一部	全・半	床上・下	全・半壊	全・半	上・下	
					全・大・半・ 一部	全・半	床上・下	全・半壊	全・半	上・下	
					全・大・半・ 一部	全・半	床上・下	全・半壊	全・半	上・下	
					全・大・半・ 一部	全・半	床上・下	全・半壊	全・半	上・下	
					全・大・半・ 一部	全・半	床上・下	全・半壊	全・半	上・下	
					全・大・半・ 一部	全・半	床上・下	全・半壊	全・半	上・下	
					全・大・半・ 一部	全・半	床上・下	全・半壊	全・半	上・下	
					全・大・半・ 一部	全・半	床上・下	全・半壊	全・半	上・下	
					全・大・半・ 一部	全・半	床上・下	全・半壊	全・半	上・下	
					全・大・半・ 一部	全・半	床上・下	全・半壊	全・半	上・下	

10. 火災発生状況

火災発生状況

年 月 日		時 分		現在					
火災発生場所		年	月	日	時	分			
火災発生日時		年	月	日	時	分			
現場到着時間		年	月	日	時	分			
処置完了時刻		年	月	日	時	分			
連絡手段	電話	番号							
	無線	番号							
	その他	FAX							
従事者	責任者氏名 ()	() () ()	計	責任者氏名 ()	() () ()	計			
							責任者氏名 ()	() () ()	計
構造									
災害	用途								
状況	建築面積	平方メートル		平方メートル		平方メートル			
	延べ面積	平方メートル		平方メートル		平方メートル			
	焼損面積	平方メートル		平方メートル		平方メートル			
	焼損程度	全焼	半焼	部分焼	ぼや	全焼	半焼	部分焼	ぼや
消火活動状況等									

11. 潮位測定値報告書

潮位測定値報告書

箇所名	
-----	--

配置者 (人)			報告時刻	時	分	報告者
配置時刻	時 分					

測定時刻		測定値	報告時刻	報告者
1	時 分	c m	時 分	
2	時 分	c m	時 分	
3	時 分	c m	時 分	
4	時 分	c m	時 分	
5	時 分	c m	時 分	
6	時 分	c m	時 分	
7	時 分	c m	時 分	
8	時 分	c m	時 分	
9	時 分	c m	時 分	
10	時 分	c m	時 分	
11	時 分	c m	時 分	
12	時 分	c m	時 分	
13	時 分	c m	時 分	
14	時 分	c m	時 分	
15	時 分	c m	時 分	

異常があった場合(その状況)

報告者

12. 防潮ゲート等閉鎖状況報告書

防潮ゲート等閉鎖状況報告書

箇所名							
配置者 (人)				報告時刻	時 分	報告者	
	配置時刻	時	分				時 分
閉鎖完了時刻	時	分	(所要時間 分)		時 分		
開放時刻	時	分		時 分			
異常があった場合(その状況)							
							報告者

b. 情報伝達に関する様式

1. 広報用文例（風水害時）

庁舎内放送の文例

大雨・洪水	<p>危機管理課より庁舎内の皆さんにお知らせします。</p> <p>本日、午前・午後__時__分、兵庫県__に大雨・洪水警報が発表されました。 水防指令第__号が発令中です。</p> <p>兵庫県__では、これから1時間に__ミリから__ミリの激しい雨が降り、総雨量は__ミリに達する見込みです。</p> <p>職員の皆さんは、水防配備に備えてください。 職員の皆さんは、業務時間終了後も、各部署で待機してください。</p> <p>(繰り返し)</p>
台風	<p>危機管理課より庁内の皆さまにお知らせします。</p> <p>台風__号は、本日、午前・午後__時現在__にあつて、時速__k mの速さで__に進んでいます。 __月__日__時頃には__に到達するものと予測されています。 この台風の中心気圧は__ヘクトパスカル、中心付近の最大風速は毎秒__mの勢力を持っています。</p> <p>播磨町には__日__時頃に最接近する見込みです。 現在播磨町には__警報が発表されており、水防指令第__号が発令中です。</p> <p>職員の皆さんは、水防配備に備えてください。 職員の皆様は、業務時間終了後も各部署で待機してください。</p> <p>(繰り返し)</p>
本部設置	<p>危機管理課より、職員の皆さんへお知らせします。</p> <p>__により、__時__分、災害対策（警戒）本部が__に設置されました。 本部員の方は、至急__へ集合してください。</p> <p>職員の皆さんは、水防配備に備えてください。 職員の皆様は、業務時間終了後も各部署で待機してください。</p>

避難指示等の放送例文(洪水)

種別	文例
<p style="text-align: center;">【警戒レベル3】 高齢者等避難</p>	<p>緊急放送、緊急放送、警戒レベル3、高齢者等避難発令。 こちら、ぼうさいはりまちょう、播磨町災害対策本部からのお知らせです。 住民の皆様の安全に関わる重要な情報です。</p> <p>ただ今__時__分に__地区に対して警戒レベル3、高齢者等避難を発令しました。 __からの大雨により__川が増水し、__時間後には溢れる可能性があります。 お年寄りの方、障がいのある方、小さい子供をお連れの方などは、速やかにあらかじめ定めた避難所（__避難所）へ避難してください。</p> <p>できるだけ近所の方にも声をかけてください。 冠水している道路はできる限り迂回してください。 また、テレビ・ラジオなど今後の情報に注意してください。</p>
<p style="text-align: center;">【警戒レベル4】 避難指示</p>	<p><サイレン> 緊急放送、緊急放送、警戒レベル4、避難指示発令。 こちら、ぼうさいはりまちょう、播磨町災害対策本部からのお知らせです。 住民の皆様の安全に関わる重要な情報です。</p> <p>__川が増水し、氾濫の可能性があるため、__時__分に__地区に対して警戒レベル4、避難指示を発令しました。 速やかに全員避難を開始してください。 緊急車両の通行を確保するため、避難は車を使用しないでください。</p> <p>外が危険な時は、自宅の2階か、近くの安全な高い建物に避難してください。</p>
<p style="text-align: center;">【警戒レベル5】 緊急安全確保</p>	<p><サイレン> 緊急放送、緊急放送、警戒レベル5、命を守る最善の行動をとってください。災害発生、警戒レベル5、命を守る最善の行動をとってください。 こちら、ぼうさいはりまちょう、播磨町災害対策本部からのお知らせです。 住民の皆様の命に関わる重要な情報です。</p> <p>__時__分に__地区に対して警戒レベル5、緊急安全確保を発令しました。 __地区で堤防から水があふれ出しました。現在、浸水により__は通れません。 __地区を避難中の方は、大至急近くの安全な高い建物など、安全な場所に避難してください。</p>

※必ず複数回繰り返して放送すること。

※広報車で広報を行うときは、確実に伝えるため、停車して放送すること。

避難指示等の放送例文(高潮)

種別	文例
<p style="text-align: center;">【警戒レベル3】 高齢者等避難</p>	<p>緊急放送、緊急放送、警戒レベル3、高齢者等避難発令。 こちら、ぼうさいはりまちょう、播磨町災害対策本部からのお知らせです。 住民の皆様の安全に関わる重要な情報です。</p> <p>ただ今__時__分に__地区に対して、警戒レベル3、高齢者等避難を 発令しました。 高潮警報が発令されています。(2時間後に高潮警報潮位に達すると予測され れます。)</p> <p>お年寄りの方、障がいのある方、小さい子供をお連れの方などは、速やか に(__避難所)へ避難してください。</p> <p>できるだけ近所の方にも声をかけてください。 冠水している道路はできる限り迂回してください。 また、テレビ・ラジオなど今後の情報に注意してください。</p>
<p style="text-align: center;">【警戒レベル4】 避難指示</p>	<p><サイレン> 緊急放送、緊急放送、警戒レベル4、避難指示発令。 こちら、ぼうさいはりまちょう、播磨町災害対策本部からのお知らせです。 住民の皆様の安全に関わる重要な情報です。</p> <p>__時__分に__地区に対して、警戒レベル4、避難指示を発令しまし た。 高潮による被害の可能性があるため、速やかに全員避難を開始してくださ い。 緊急車両の通行を確保するため、避難は車を使用しないでください。</p> <p>外が危険な時は、自宅の2階か、近くの安全な高い建物に避難してくださ い。</p>
<p style="text-align: center;">【警戒レベル5】 緊急安全確保</p>	<p><サイレン> 緊急放送、緊急放送、警戒レベル5、命を守る最善の行動をとってくださ い。災害発生、警戒レベル5、命を守る最善の行動をとってください。 こちら、ぼうさいはりまちょう、播磨町災害対策本部からのお知らせです。 住民の皆様の命に関わる重要な情報です。</p> <p>__時__分に__地区に対して警戒レベル5、緊急安全確保を発令しま した。 __地区で堤防から水があふれ出しました。現在、浸水により__は通れ ません。 __地区を避難中の方は、大至急近くの安全な高い建物など、安全な場所 に避難してください。</p>

※必ず複数回繰り返して放送すること。

※広報車で広報を行うときは、確実に伝えるため、停車して放送すること。

2. 広報用文例（地震・津波時）

庁舎内放送（地震）

発生直後	<p>危機管理課より職員の皆さんへ連絡します。 ただいま大きな地震がありました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本部員の方は、至急_____へ集合してください。 ・職員の皆さんは、非常配備体制に備えてください。 ・近くのガスの元栓など火の元を点検してください。 ・来庁されている方を安全なところへ案内・誘導してください。 ・周りにケガをした人がいたら、応急手当をしてください。 ・倒れかかったロッカーや飛び散ったガラスなどは危険ですから片付けてください。 ・電話の受話器が外れていたらすぐに元に戻してください。 ・不要・不急の電話やエレベーターは使用しないでください。 <p>危機管理課より、職員の皆さんへ連絡します。 先ほどの地震により、___時___分、災害対策本部が_____に設置されました。 各課は被害状況を取りまとめ、至急災害対策本部事務局へ報告してください。 今後、余震があるかもしれませんが、テレビ・ラジオのニュースや庁舎内放送に十分注意し、上司の指示に従って落ち着いて行動してください。</p> <p>(津波警報等が発令され、ゲート閉鎖が指示された場合) ただいまの地震により津波警報が発令されました。_____の職員の方はゲートの閉鎖に当たってください。その際、海岸部周辺に人がいる場合は海岸線から離れるよう、避難誘導を行ってください。</p> <p>(繰り返し)</p>
地震情報	<p>播磨町災害対策本部（危機管理課）より、職員の皆さん、来庁者の皆さんへお知らせします。</p> <p>気象庁の発表によりますと、先ほどの地震の震源地は_____で、震源の深さは約_____k mと推定されます。 近隣地域の震度は、播磨町で震度_____ _____で震度_____ _____で震度_____ 地震の規模を示すマグニチュードは_____でした。</p> <p>(津波情報がある場合) 播磨町沿岸への津波到達予想時刻は___分後です。現在ゲートの閉鎖作業を行っております（津波の心配はありません）。</p> <p>以上、播磨町災害対策本部（危機管理課）から地震情報をお知らせしました。</p>

広報用放送例文（地震）

発生直後	<p>こちら、ぼうさいはりまちょう、播磨町災害対策本部からのお知らせです。</p> <p>ただ今、大きな地震がありました。 あわてて、外に飛び出すのは危険です。落ち着いて行動してください。</p> <p>まず、ガラスの破片などでケガをしないよう、スリッパや靴を履いてください。 ガスの元栓を閉めてください。 電気器具のスイッチを切ってください。</p> <p>プロパンガスはガスボンベが倒れたり、ガス管が壊れている場合があります。 ボンベの元栓も締めてください。</p> <p>ガス漏れの恐れがあります。たばこには火をつけないでください。マッチ、ライター、ろうそくは使わないで下さい。 電気のブレーカーも切ってください。漏電による火災の恐れがあります。</p> <p>ラジオ、テレビをつけて、今後の放送に十分注意してください。</p>
発生から数時間以内	<p>こちら、ぼうさいはりまちょう、播磨町災害対策本部からのお知らせです。</p> <p>先ほどの地震は、震度_____、震源地_____と発表されました。 揺れは次第におさまってきています。落ち着いて行動してください。 あわてて、外に飛び出すのは危険です。落ち着いて行動してください。</p> <p>ガラスの破片などでケガをしないよう、スリッパや靴をはいて下さい。</p> <p>建物のまわりは、ガラスや看板、壁が落ちてくる危険があります。 壊れた建物のそばや狭い路地を通るときは、屋根瓦に注意して、ブロック塀から離れてなるべく道のまん中を歩いて下さい。 たれさがった電線には絶対にふれないで下さい。 おちついてまわりを見て下さい。</p> <p>電話はかかりにくくなっています。 緊急の電話をかけやすくするために、しばらく電話は使わないで下さい。</p> <p>近所にお年寄りだけの家や大人が留守で子供さんだけの家はありませんか。 身の回りが落ち着いたら、声をかけてあげて下さい。</p> <p>出所のわからない情報には一切耳をかさない、人に伝えないようにしてください。</p> <p>ラジオ、テレビをつけて、今後の放送に十分注意してください。</p>

※広報車で広報を行うときは、確実に伝えるため、停車して放送すること。

避難指示等の放送例文(津波)

種別	文例	
避難指示	津波注意報	<p><サイレン> 緊急放送、緊急放送、避難指示発令。 こちら、ぼうさいはりまちょう、播磨町災害対策本部からのお知らせです。 住民の皆様安全に関わる重要な情報です。 兵庫県瀬戸内海沿岸に津波注意報が発表されました。 徒歩での避難を指示します。</p> <p>時間のある限り、喜瀬川より西の方は大中遺跡公園、喜瀬川より東の方は野添北公園を目指してください。歩いて避難してください。</p>
	時間的余裕有	<p><サイレン> 緊急放送、緊急放送、避難指示発令。 こちら、ぼうさいはりまちょう、播磨町災害対策本部からのお知らせです。 住民の皆様命に関わる重要な情報です。</p> <p>兵庫県瀬戸内海沿岸に津波警報（大津波警報）が発表されました。 新幹線より南側の方は大変危険です。 徒歩での避難を指示します。</p> <p>喜瀬川より西の方は大中遺跡公園、喜瀬川より東の方は野添北公園を目指して、今すぐ避難してください。</p>
	時間的余裕無	<p><サイレン> 大津波警報、大津波警報 大至急、大中遺跡公園か野添北公園を目指して、避難せよ。</p> <p>〇〇で津波が発生（〇〇で津波を観測、〇〇で津波は既に到達）。 直ちに避難せよ。</p>
注意報発令の伝令	<p><サイレン> こちら、ぼうさいはりまちょう、播磨町災害対策本部からのお知らせです。 兵庫県瀬戸内海沿岸に津波注意報が発表されました。</p> <p>海岸や河川沿いから離れてください。 海や河川付近で作業している方は作業を中止し、海岸から離れてください。 また、テレビ・ラジオなど今後の情報に注意してください。</p>	

※必ず複数回繰り返して放送すること。

3. 広報用文例（大規模火災）

広報用放送例文(大規模火災)

発生直後	<p>こちら、ぼうさいはりまちょう、播磨町災害対策本部からのお知らせです。 ただ今、_____地区で大規模な火災が発生しました。</p> <p>あわてて、外に飛び出すのは危険です。落ち着いて行動してください。</p> <p>まず、ガスの元栓を閉めてください。 電気器具のスイッチを切ってください。</p> <p>ラジオ、テレビをつけて、今後の放送に十分注意してください。</p>
発生から数時間以内	<p>こちら、ぼうさいはりまちょう、播磨町災害対策本部からのお知らせです。 先ほど_____地区で発生した大規模な火災は次第におさまってきています。</p> <p>落ち着いて行動してください。</p> <p>電話はかかりにくくなっています。緊急の電話をかけやすくするために、しばらく電話は使わないようにしてください。</p> <p>出所のわからない情報には一切耳をかさない、人に伝えないようにしてください。 ラジオ、テレビをつけて、今後の放送に十分注意してください。</p>
避難誘導	<p>こちら、ぼうさいはりまちょう、播磨町災害対策本部からのお知らせです。</p> <p>ただ今の_____により、_____地区で火災が発生し、_____方向へ燃え広がる危険があります。</p> <p>_____地区の皆さんは、_____公園、_____小学校へ避難してください。</p> <p>避難する際は、荷物は最小限にしてください。 情報を得るため、ラジオを携行してください。</p> <p>緊急車両の通行を確保するため、避難は車を使用しないでください。 車を道路に乗り捨てないでください。</p> <p>避難する際は火災現場の近くなど危険な場所は通らず、誘導する町職員、警察官等の指示に従ってください。</p>
被害状況	<p>こちら、ぼうさいはりまちょう、播磨町災害対策本部からのお知らせです。</p> <p>ただ今の_____により、火災が発生し、延焼中です。</p> <p>現在、_____のため、電気、水道、電話が各所で分断されています。</p> <p>_____地区の皆さんは、冷静に今後のラジオ、テレビや防災行政無線の放送を聞いてください。</p>

4. 職員参集用電話連絡文例

電話連絡文例

召集	<p>こちらは播磨町災害対策本部です。</p> <p>先ほど発生した_____により、災害対策本部が設置されています。 至急、_____に参集してください。</p> <p>(即時参集可能な場合) 活動に必要な、着替え、防寒着、水と食料、懐中電灯、ラジオ、携帯電話と充電器などを持って、作業できる格好で参集してください。 参集する際、自家用車は使用しないでください。</p> <p>参集途中は、被害状況を確認してください。 到着次第、統括又はリーダーに参集の報告と被害状況を報告してください。</p> <p>途中で、道路の断絶などがあり、役場まで参集できない場合は、その旨統括又はリーダーに報告し、指示に従ってください。</p> <p>(即時参集不能な場合) 参集できない理由を教えてください。 今後参集可能な状態になりましたら、速やかに参集してください。</p>
待機指示	<p>こちらは播磨町（災害警戒本部）です。</p> <p>現在、_____により警戒態勢となっています。 即時参集の必要はありませんが、自宅待機してください。</p> <p>また、これを課内連絡網で次の方に伝達してください。 次の方が留守の場合は、飛ばして次の方に伝達してください。</p>
待機解除	<p>こちらは播磨町（災害警戒本部）です。</p> <p>____時____分、自宅待機を解除します。</p> <p>また、これを課内連絡網で次の方に伝達してください。 次の方が留守の場合は、飛ばして次の方に伝達してください。</p>

5. 火災・災害等即報要領様式

第1号様式 (火災)

第 報

報告日時	年 月 日 時 分
都道府県	
市町村 (消防本部名)	
報告者名	

消防庁受信者氏名

※ 特定の事故を除く。

火災種別	1 建物 2 林野 3 車両 4 船舶 5 航空機 6 その他						
出火場所							
出火日時 (覚知日時)	月 日 時 分 (月 日 時 分)		(鎮圧日時) 鎮火日時		(月 日 時 分) 月 日 時 分		
火元の業態・用途			事業所名 (代表者氏名)				
出火箇所			出火原因				
死傷者	死者(性別・年齢)		人		死者の生じた理由		
	負傷者 重症		人				
	中等症		人				
	軽症		人				
建物の概要	構造		建築面積		㎡		
	階層		延べ面積		㎡		
焼損程度	焼損棟数	全焼棟		計棟	焼損面積	建物焼損床面積	㎡
		半焼棟				建物焼損表面積	㎡
		部分焼				林野焼損面積	ha
		ぼや					
り災世帯数			世帯	気象状況			
消防活動状況	消防本部(署)		台	人			
	消防団		台	人			
	その他(消防防災ヘリコプター等)		台・機	人			
救急・救助活動状況							
災害対策本部等の設置状況							
その他参考事項							

(注) 第1報については、迅速性を最優先とし可能な限り早く(原則として、覚知後30分以内)分かる範囲で記載して報告すること。(確認がとれていない事項については、確認がとれていない旨(「未確認」等)を記入して報告すれば足りること。)

第2号様式 (特定の事故)

第 報

- 事故名 {
- 1 石油コンビナート等特別防災区域内の事故
 - 2 危険物等に係る事故
 - 3 原子力施設等に係る事故
 - 4 その他特定の事故

消防庁受信者氏名

報告日時	年 月 日 時 分
都道府県	
市町村 (消防本部名)	
報告者名	

事故種別	1 火災 2 爆発 3 漏えい 4 その他()			
発生場所				
事業所名	特別防災区域	〔レイアウト第一種、第一種、 第二種、その他〕		
発生日時 (覚知日時)	月 日 時 分 (月 日 時 分)	発見日時	月 日 時 分	
		鎮火日時 (処理完了)	月 日 時 分 (月 日 時 分)	
消防覚知方法	気象状況			
物質の区分	1 危険物 2 指定可燃物 3 高圧ガス 4 可燃性ガス 5 毒劇物 6 RI等 7 その他()	物質名		
施設の区分	1 危険物施設 2 高危混在施設 3 高圧ガス施設 4 その他()			
施設の概要	危険物施設の 区 分			
事故の概要				
死 傷 者	死者(性別・年齢)	人	負傷者等	人(人)
			重症	人(人)
			中等症	人(人)
			軽症	人(人)
消 防 防 災 活 動 状 況 及 び 救 急 ・ 救 助 活 動 状 況	事業所	出場機関	出場人員	出場資機材
		自衛防災組織	人	
		共同防災組織	人	
		その他	人	
	消防本部(署)	台	人	
	消 防 団	台	人	
	消防防災ヘリコプター	機	人	
	海上保安庁	人		
警戒区域の設定	月 日 時 分	自 衛 隊	人	
使用停止命令	月 日 時 分	そ の 他	人	
災害対策本部 等の設置状況				
その他参考事項				

(注) 第1報については、迅速性を最優先とし可能な限り早く(原則として、覚知後30分以内)分かる範囲で記載して報告すること。(確認がとれていない事項については、確認がとれていない旨(「未確認」等)を記入して報告すれば足りること。)

第3号様式 (救急・救助事故・武力攻撃災害等)

第 報

報告日時	年 月 日 時 分
都道府県	
市町村 (消防本部名)	
報告者名	

消防庁受信者氏名

事故災害種別	1 救急事故 2 救助事故 3 武力攻撃災害 4 緊急対処事態における災害			
発生場所				
発生日時 (覚知日時)	月 日 時 分 (月 日 時 分)	覚知方法		
事故等の概要				
死 傷 者	死者 (性別・年齢)	負傷者等	人 (人)	
	計 人	{ 重症 人 (人) 中等症 人 (人) 軽 症 人 (人)		
	不明 人			
救助活動の要否				
要救護者数(見込)		救助人員		
消防・救急・救助 活動状況				
災害対策本部 等の設置状況				
その他参考事項				

(注) 負傷者欄の () 書きは、救急隊による搬送人員を内書きで記入すること。

(注) 第1報については、迅速性を最優先とし可能な限り早く(原則として、覚知後30分以内)分かる範囲で記載して報告すること。(確認がとれていない事項については、確認がとれていない旨(「未確認」等)を記入して報告すれば足りること。)

第4号様式 (その1)

(災害概況即報)

消防庁受信者氏名 _____
 災害名 _____ (第 報)

報告日時	年 月 日 時 分
都道府県	
市町村 (消防本部名)	
報告者名	

災害の概況	発生場所							発生日時	月 日 時 分					
被害の状況	人的被害	死者		人	重傷		人	住家被害	全壊		棟	床上浸水		棟
		不明		人	軽傷		人		半壊		棟	床下浸水		棟
									一部破損		棟	未分類		棟
	119番通報の件数													
応急対策の状況	災害対策本部等の設置状況	(都道府県)					(市町村)							
	消防機関等の活動状況	(地元消防本部、消防団、消防防災ヘリコプター、消防組織法第39条に基づく応援消防本部等について、その出動規模、活動状況等をわかる範囲で記入すること。)												
	自衛隊派遣要請の状況													
その他都道府県又は市町村が講じた応急対策 _____ _____ _____														

(注) 第1報については、迅速性を最優先とし可能な限り早く(原則として、覚知後30分以内)分かる範囲で記載して報告すること。(確認がとれていない事項については、確認がとれていない旨(「未確認」等)を記入して報告すれば足りること。)

(注) 住家被害のうち、その程度が未確定のものについては、「未分類」の欄に計上すること。

6. 依頼書

依頼書

発信NO	日時 月 日 時 分	発信者
発信先 所属 氏名		所属 氏名
発信方法 TEL FAX 口頭 伝言		TEL FAX
依頼事項		
回答・報告書		
報告日時 月 日 時 分	報告者	➔

7. 通信・連絡記録票

通信・連絡記録票

【部署】

【記録者氏名】

日時	通信相手 〇〇から・〇〇へ	通信・連絡事項

c. 応援要請・受入に関する様式

1. 自衛隊災害派遣要請書

(派遣要請)

第 年 月 日

兵庫県知事 様

播 磨 町 長

印

自衛隊災害派遣について（要請）

標記のことについて下記のとおり要請いたします。

記

1. 災害の状況及び派遣を要請する理由
2. 派遣を希望する期間
年 月 日 時から
年 月 日 時まで
3. 派遣を希望する区域及び活動内容
(1) 区 域
(2) 活動内容
4. 要請責任者の職氏名
播 磨 町 長
5. 災害派遣時における特殊携行装備又は作業種類
(1) 特殊携行装備
(2) 作業種類
6. 派遣地への最適経路
7. 連絡場所及び現場責任者の職氏名並びに標識又は誘導地点とその標示
(1) 連絡場所
(2) 現場責任者
(3) その他

2. 自衛隊撤収要請書

(撤収要請)	第	号
	年	月
		日
兵庫県知事 様		
	播 磨 町 長	印
自衛隊の撤収について (要請)		
年 月 日付 第 号をもって要請した派遣部隊については、迅速適切な活動により目的を達成することができましたから下記のとおり撤収を要請いたします。		
記		
1. 派 遣 地		
2. 撤収希望日時		
年 月 日 時 分		
3. 派遣部隊人員等		
人員 約 名		
4. その他必要な事項		

3. 兵庫県消防防災ヘリコプター緊急運航要請書（令和5年4月7日～）

(様式第1号)

兵庫県消防防災ヘリコプター緊急運航要請書

年 月 日

兵庫県防災監 様

申 請 者（要請機関の長）

要請機関名		担当者名		電話番号		
発生日時	月 日 時 分頃	覚知時刻	時 分	要請時刻	時 分	
要請区分	1 救急	2 救助	3 火災防御	4 情報収集	5 災害応急 ^{※1}	6 その他
発生場所	住所:			MAP:		
臨時着陸場	名称: (臨時離着陸場番号) ^{※2} :			MAP:		
気象条件	天候:		視程 ^{※3} :			
無線呼出名称	臨時離着陸場		活動隊		現地指揮本部	
災害概要						

傷病者	氏名		年齢	歳	性別	男・女
症 状						
同乗者	医師		同乗者			
搬送元病院			電話番号			
搬送先病院			電話番号			
搬送先 臨時離着陸場			搬送先 無線呼出名称			
積載資機材			電源の要否	要・否		

送 付 先 兵庫県消防防災航空隊 TEL：(078)303-1192
 (兵庫県災害対策本部等設置時) FAX：(078)302-8119
 兵庫県災害対策本部事務局 TEL：(078)362-9900
 FAX：(078)362-9911

※1 災害応急とは、災害時の状況把握、緊急物資・医薬品等の輸送及び対策要員・医師等の搬送並びに住民への避難誘導・警報の伝達です。

※2 臨時離着陸場番号とは、「ヘリコプター臨時離着陸場適地一覧」に記載されている番号です。

※3 視程とは、何km先の目標物まで判別できるかという値です。

(様式第2号)

報告日 年 月 日

緊急運航活動報告書

兵庫県消防防災航空隊長 様

業務指揮者

印

事案番号：											
業務区分	要請区分		機体		出動番号	災害区分			活動区分		
災害発生	年 月 日 ()					要請元覚知	年 月 日				
発生場所						事前通報					
要請機関						本要請	年 月 日				
災害概要											
出動年月日	年 月 日 ()		気象：	風向：	風速：	m/s		警報・注意報：			
出動隊員	操縦：		整備：		救助：						
時間経過	出動	現場到着	機内収容	搬送開始	引継ぎ	終了引揚	帰隊	要請～ 出動		出動～ 現着	
飛行時間	火災	救助	救急	その他	活動時間	火災	救助	救急	その他		
活動概要											
撤水消火			救出救助			救急搬送			情報収集		
時間	回	ℓ	時間	回	人	時間	回	人			
使用資器材											
着陸場所											
特定行為			ヘリTV実施								
備考											

傷病者情報

日付						出動番号					
氏名				性別		年齢		生年月日			
住所								連絡先			
主訴				傷病名				疾病分類		程度	
既往歴				現病歴				通院医療機関			
搬送元病院								担当医師			
搬送先病院								担当医師			
時間経過	現着～		搬送時間		引継ぎ場						
	搬送開始				所						
					引継ぎ隊						
航空隊処置内容											
救命処置内容											
観察経過											
	JCS		GCS		血圧	呼吸		脈拍		体温	
			E	V	M		/分	/分		℃	
SPO2酸素投与	状態	心電図	瞳孔		顔貌	皮膚	麻痺	痙攣	嘔吐		
% L			左	mm	右	mm					
四肢変形	出血		創傷		熱傷		その他				
搭乗者情報											
区分	所属		氏名		搭乗場所		降機場所				
特記事項											

4. ボランティア登録台帳

ボランティア登録台帳

登録年月日	年 月 日	登録番号							
ふりがな			生年月日	年 月 日 (歳)					
氏 名			性 別	男 ・ 女					
住 所	〒								
自宅電話番号			F A X						
携帯番号			Eメール						
自宅以外の連絡先									
移動方法	徒歩 ・ 自転車 ・ バイク ・ 自動車								
できるボランティアの種類	避難所運営補助 救援物資運搬、配布 障がい者等介助 その他								
所持する免許			得意なこと						
資格等									
活動できる時間○をつける	曜日	月	火	水	木	金	土	日	その他
	午前								
	午後								
	夜間								
活動できる範囲	地域内		町内		どこでも可能				
備 考									

6. 衛星携帯電話の貸与要請の伝達事項

災害対策用移動通信機器利用の要請（速報）

【送信先】

総務省 近畿総合通信局 防災対策推進室

電話 06（6942）8504

FAX 06（6942）1849

1. 要請元	
機関名	
担当者所属	
担当者氏名	
電話	
FAX	
電子メール	
2. 要請内容	
衛星携帯電話（据置）	台
衛星携帯電話（ハンディ）	台
MCA 端末（ハンディ）	台
MCA 端末（ポータブル）	台
簡易無線機（ハンディ）	台
使用する場所（予定）	
3. 要請の理由	
（被災した通信機器の状況、要請する機種と台数の理由など）	
4. 到着希望時間・引渡場所	
（「〇〇時頃」、「至急」など）	

※FAX使用が困難の場合は、電話等にて要請内容等を伝達ください。

7. 衛星携帯電話の借受申請書

借受申請書

当地における災害により一時的に増大する通信需要に対応し、重要な通信の円滑な実施を確保するために必要な体制を整備するため、総務省所管に属する物品の無償貸付譲与に関する省令（以下、「令」という。）第三条第八号に基づく通信機器（又はそれに準じた取扱いを要する通信機器）の無償貸付を受けたいので申請します。

令第六条に規定の事項は、別記1～5のとおりです。

総務省総合通信基盤局
電波部基幹通信課
重要無線室長 殿

（通信機器の貸出を受ける団体において通信機器の運用に権限を有する者）

年 月 日

印※

※ 私印で可。公印の必要はありません。なお、自筆の場合は押印は不要です。

貸付承認通知書

年 月 日付申請を承認する。
令第七条の規程に基づき、別記2～6及び8のとおり通知する。

殿

年 月 日
総務省総合通信基盤局
電波部基幹通信課
重要無線室長 印

借受書

年 月 日付貸付承認に係る通信機器の引渡し及び使用方法の説明を受けました。

通信機器使用に際しては、別記8貸付条件に従います。
令第八条に規定の事項は、別記2、4及び5のとおりです。

総務省総合通信基盤局
電波部基幹通信課
重要無線室長 殿

(通信機器の貸出を受ける団体において通信機器の
運用に権限を有する者)

年 月 日

印※

※ 私印で可。公印の必要はありません。なお、自筆の場合は押印は不要です。

- 1 借受申請書提出時に、二重枠線内の1～5について記入してください。
- 2 借受書提出時に、「8 貸付条件」の9項目について確認の上、左欄に同意を示すチェックを入れてください。

1	申請者	氏名又は名称	
		住所	
2	申請台数	MCA	台
		簡易無線	台
		衛星携帯電話	台
		その他 ()	台
3	使用場所	(使用場所が指定できるときのみ記入してください。)	
4	引渡場所及び返納場所		
5	貸付期間等	借受日	年 月 日
		貸付期間	原則、貸付から6ヶ月以内
6	使用目的	災害時における重要な通信の円滑な実施を確保するため。	
7	必要な理由	災害により一時的に増大する通信需要に対応するため。	
8	貸付条件	<input type="checkbox"/> 1 通信機器の運用に当たっては、電波法及びこれに基づく命令に定めるところに従い、監督に服すこと。 <input type="checkbox"/> 2 通信機器引渡し時に交付の「無線局運用証明書」を、通信機器を実際に操作する者に携行させること。 <input type="checkbox"/> 3 通信機器は、善良な管理者の注意をもって管理し、その効率的使用に努めること。 <input type="checkbox"/> 4 通信機器は、転貸し、又は担保に供しないこと。 <input type="checkbox"/> 5 通信機器は、貸付の目的以外の使用及び改造をしないこと。 <input type="checkbox"/> 6 通信機器について使用場所が指定された場合は、指定された場所以外での使用をしないこと。 <input type="checkbox"/> 7 通信機器は、貸付期間満了の日までに指定された場所に返却すること。 <input type="checkbox"/> 8 通信機器を亡失又は損傷したときは、その旨及び理由についての報告書を重要無線室長に提出し、その指示に従うこと。当該事故原因が災害又は盗難に係る場合は、関係官公署の発行する証明書を報告書に添付すること。 なお、注意を怠り、無線機を亡失又は損傷させた場合、その損害を弁償させる場合がある。 <input type="checkbox"/> 9 重要無線室長は、通信機器について、随時に調査し、若しくは報告を求め、又は維持、管理及び返却に関して必要な指示をする場合がある。 なお、通信機器は、借受人が貸付条件に違反したとき又は重要無線室長が特に必要と認めるときは、満了日前に返却を指示する場合がある。この場合は、重要無線室長の指示に従い速やかに返却すること。	
備	考		

8. 災害対策用移動電源車の借受申請書

様式 1-1
借受申請書
災害の発生に伴う電源供給の途絶により、通信の確保が困難な状況となったため、応急的に電源を確保する必要が生じたことから、災害対策用移動電源車の貸与を別記のとおり申請いたします。
総務省 近畿総合通信局長 殿
て
(移動電源車の貸与を受ける団体において 運用の権限を有する者) 年 月 日
印※ ※ 私印で可。自筆による署名の場合は押印不要。

様式 1-2
貸付承認通知書
年 月 日付けの借受申請を別記のとおり承認する。
殿
年 月 日
総務省 近畿総合通信局長 印

様式 1-3
借受書
年 月 日付けで貸与を承認された移動電源車の引渡し及び運用方法の説明を受けました。移動電源車の運用と取扱については、別記に記載された事項及び災害対策用移動電源車の貸与仕様書に従います。
総務省 近畿総合通信局長 殿
て
(移動電源車の貸与を受ける団体において 運用に権限を有する者) 年 月 日
印※ ※ 私印で可。自筆による署名の場合は押印不要。

借受申請書提出時に、以下について記入してください。

1	申請者 (法人の場合、その名称及び代表者名)	氏名又は 名称		
		住所		
2	申請台数	小型移動電源車(5.5kVA)		台
		中型移動電源車(100kVA)		台
3	使用目的及び必要とする理由	災害時における通信の確保等の用として、応急的に電源供給できる移動電源車が必要となるため。		
4	使用場所	※ 使用場所が指定できるときのみ記入ください。		
5	借受期間	年月日から年月日まで		
6	引渡場所			
7	備考			

<注意事項>

- ① 民間事業者が移動電源車の貸与を受ける場合は、有償貸与となる。
- ② 中型移動電源車の貸与を受ける者は、電気事業法(保安全管理規定の届出、電気主任技術者の選任)を遵守すること。
- ③ 中型移動電源車の貸与を申請する場合であって、緊急自動車※として運用することを希望する者は、その旨を備考欄に記載の上、緊急走行の訓練及び経験を確認できる資料を添えて申請すること。

※公安委員会から緊急自動車の指定を受けた車両が、緊急用務のため運転中のものを緊急自動車といい、中型移動電源車は災害の応急復旧のための緊急用務であれば、緊急自動車として他の交通車両に優先して道路を通行することが可能。

d. 災害救助法に基づく様式

1. 被害状況報告（県様式1）

県様式1

被害状況報告

① 災害発生の日時及び場所

市(区)町名 加古郡御番町

② 災害の原因

③

(1) 被害状況（平成 年 月 日現在）

人的被害				住家の被害															
死者	行方不明	負傷		棟数					世帯数及び人員										
		重傷	軽傷	全壊 全焼又は 流出	半壊 又は 半焼	一部 破損	床上 浸水	床下 浸水	全壊全焼又は流出		半壊又は半焼		一部破損		床上浸水		床下浸水		
									世帯	人員	世帯	人員	世帯	人員	世帯	人員	世帯	人員	

・人的被害状況の詳細 → （報告項目例） 年齢、性別、被災状況、対応状況

・住家被害状況の詳細 → （報告項目例） 住所、被災状況、対応状況等

(2) 避難状況（避難所別の避難者数）

避難場所	避難者の累計		現在の避難者数	
	世帯	人	世帯	人

(3) 避難指示・勧告状況（有の場合は具体的に記入・数字は「約」でも可）

1. 避難指示 無・有 指示時刻【 : 】 対象地区名：_____ 対象：_____世帯 人

2. 避難勧告 無・有 勧告時刻【 : 】 対象地区名：_____ 対象：_____世帯 人

勧告時刻【 : 】 対象地区名：_____ 対象：_____世帯 人

勧告時刻【 : 】 対象地区名：_____ 対象：_____世帯 人

④その他（特記事項＝集落の孤立、断水状況等生活支援の必要な事案などを記入）

2. 災害発生（中間）情報（県様式 2）

県様式 2

災害発生・中間情報			
市町村名	加古郡播磨町	法適用状況	①未適用
報告者			② 年 月 日適用
原因もしくは災害名			
発生日時	年 月 日 時 分	発生場所	
既にとった救助の措置及びとらうとする措置		救助の種類	
		避難所の措置	延 人
		応急仮設住宅の設置	戸
		炊き出しその他食品の供与	延 人
		飲料水の供給	延 人
		被服寝具その他生活必需品の給与	延 世帯
		医療	延 人
		助産	延 人
		救出	延 人
		住宅の応急修理	延 世帯
		学用品の給与	延 人
		埋葬	延 人
		死体の捜索	延 人
		死体の処理	延 人
障害物の除去	延 世帯		
その他			

- (注) 1 様式最上欄の、「発生」、「中間」のうち該当する情報提供名に○印をつけること。
 2 「法適用状況」欄の該当する項目に○印をつけ、適用済の場合には適用年月日を記入すること。
 3 被害状況については、様式 1 を添付すること（詳細不明の場合等はその旨を「その他」欄に記載）。
 4 救助の見込みは、「既にとった救助の措置及びとらうとする措置」欄にその旨記載すること。
 5 中間情報は、「災害救助費概算額調」を添付すること（詳細不明の場合等はその旨を「その他」欄に記載）。

3. 災害救助法適用要請文書（町→県）（県様式3）

県様式3

文 書 番 号
年 月 日

兵庫県知事 様

播磨町長

災害救助法の適用について（依頼）

<災害名>により、下記のとおり多大な被害が発生しましたので、災害救助法（昭和22年法律第118号）の適用を要請します。

記

1 被害の状況

（ 年 月 日 時 分現在）

人的被害（人）			住家被害（世帯）					
死者	行方不明	負傷者	全壊等 （ア）	半壊等 （イ）	床上浸水 （ウ）	床下浸水	一部損壊	滅失世帯数 （注）

（注）滅失世帯数は、次の算式で算出したもの。「ア+イ×1/2+ウ×1/3」

2 今までにとった措置

3 今後とるべき措置

4 その他の事項

（1）県への援助要望

（2）事務担当者連絡先

部課室名

担当 担当者名

電話 電話番号

（3）その他

4. 災害救助日計票（県様式 6）

県様式 6

救助実施記録日計表

救助の種類
 避 炊 水 救出
 修理 学 死 死
 障 応 医 埋
 被 仮 助 葬
 服 産
 市町名 加古郡播磨町
 責任者氏名 印
 地区責任者氏名 印

No. _____ 年 月 日 時 分

員数（世帯）	
品目（数量・金額）	
受 入 先	
支 出 先	
場 所	
方 法	
記 事	

記入要領

- 各救助の種類ごとに一葉作成する。
- 記録票欄外のナンバー欄には、記録票作成ごとに一連番号を附するものとし、報告内容を訂正する必要が生じた場合、例えばNo.10の次にNo.5の分を訂正する場合には、「No.11（No.5 訂正）」のように記載のうえ、No.5の記録票には朱で×印を附し「(No.11 に訂正済)」とし、廃棄することなくそのままナンバー順に綴っておくこと。
 なお、救助の実施種類が多い場合には、救助の種類ごとに一連番号を附し、ナンバー順に綴ってよい。
- 記入票欄外の救助の種類別欄の該当の救助名は○で囲み、欄内該当欄に必要最少限度の事項を記入する。
- 機械、器具等が無償で借上げた場合についても記録票を作成する。
- 被服寝具その他生活必需品の給与等で、県調達分と市町調達分がある時は、それぞれ別に記録票を作成する。

5. 災害救助費概算額調（県様式7）

災害救助費概算額調

県様式7

種目別区分		員数	単価(円)	金額(円)	備考
避難所設置費	既存建物	延人			
	野外仮設	延人			
	天幕借上	延人			
	計	延人			
応急仮設住宅設置費	建設型仮設住宅	戸			
	借上型仮設住宅	戸			
	計	戸			
炊出しその他のよる食品給与費		延人			
飲料水供給費		延人			
被服、寝具その他生活必需品の(貸)与費	全壊(焼)流出	世帯			
	半壊(燃)・床上浸水	世帯			
	計	世帯			
医療及び助産費	医療費	延人			
	助産費	延人			
	計				
災害にかかった者の救出費		人			
災害にかかった住宅の応急修理費		世帯			
生業に必要な資金の貸与費		世帯			
学用品の給与費	小学校児童	教科書	人		
		文房具等	人		
	中学校生徒	教科書	人		
		文房具等	人		
	高等学校等生徒	教科書	人		
		文房具等	人		
計	人				
埋葬費	大人	体			
	小人	体			
	計	体			
死体の捜索費		体			
死体の処置費	洗浄、消毒等	体			
	一時保存	体			
	検案	体			
	計	体			
障害物の除去費		世帯			
輸送費					
賃金職員等雇上費					
実費弁償費					
扶助金					
損失補償費					
法第19条の補償					
救助事務費					
合計					

6. 特別基準設定申請書（県様式 8）

県様式 8

文 書 番 号
年 月 日

兵庫県知事 様

播磨町長

<災害名>災害救助にかかる特別基準の設定申請について

さきの<災害名>による救助について、災害救助法に定める一般基準では救助の適切な実施が困難であるため、別紙のとおり特別基準の設定を申請します。

(別紙)

市町名 加古郡播磨町

救助の種類	一般基準		特別基準		特別基準 設定理由
	期間	基準額	期間	基準額	
避難所の設置	7日 (～10/ 26)	320円/日・人	(例) 20日 (～11/ 8)	(例) 456円/日・人	
応急仮設住宅の供与	20日 (～11/ 8)		(例) 35日 (～11/ 23)		

救助の種類ごとに、「期間」「基準額」のいずれか（あるいは両方）で特別基準を設定する
場合に記載すること。

8. 避難所設置及び供与状況（県様式16）

避難所設置及び供与状況

県様式16

市(区)町名 加古郡播磨町

避難所の名称	種別	開設期間	実人員	延人員	物品使用状況		実支出額	備考
					品名	数量		
		平成 年 月 日～平成 年 月 日	人	人			円	
		平成 年 月 日～平成 年 月 日	人	人			円	
		平成 年 月 日～平成 年 月 日	人	人			円	
		平成 年 月 日～平成 年 月 日	人	人			円	
		平成 年 月 日～平成 年 月 日	人	人			円	
		平成 年 月 日～平成 年 月 日	人	人			円	
		平成 年 月 日～平成 年 月 日	人	人			円	
		平成 年 月 日～平成 年 月 日	人	人			円	
		平成 年 月 日～平成 年 月 日	人	人			円	
		平成 年 月 日～平成 年 月 日	人	人			円	
		平成 年 月 日～平成 年 月 日	人	人			円	
		平成 年 月 日～平成 年 月 日	人	人			円	
		平成 年 月 日～平成 年 月 日	人	人			円	
		平成 年 月 日～平成 年 月 日	人	人			円	
		平成 年 月 日～平成 年 月 日	人	人			円	
計			人	人			円	

(注)1 「種別」欄は、既存建物、野外仮設、天幕の別に記入すること。
 2 物品の使用状況は、開設期間中に使用した品目別、使用数量を記入すること。
 3 他市町の住民を収容したときは、その住所、氏名及び収容期間を「備考」欄に記入すること。

9. 応急仮設住宅台帳（県様式17）

応急仮設住宅台帳

県様式17

市(区)町名 加古郡播磨町

応急仮設住宅番号	世帯主氏名	家族数	所在地	構造区分	面積	敷地区分	着工月日	竣工月日	入居月日	実支出額	備考
		人								円	
		人								円	
		人								円	
		人								円	
		人								円	
		人								円	
		人								円	
		人								円	
		人								円	
		人								円	
		人								円	
		人								円	
		人								円	
		人								円	
		人								円	
		人								円	
		人								円	
計	世帯									円	

(注) 1 「応急仮設住宅番号」欄は、応急仮設住宅に付した番号とし、設置個所を明らかにした簡単な図面を作成し添付すること。
 2 「家族数」欄は、入居時における世帯主を含めての人員数を記入すること。
 3 「所在地」欄は、応急仮設住宅を建設したところの住所を記入すること。
 4 「構造区分」欄は、木造住宅、プレハブ住宅の別を記入すること。
 5 「敷地区分」欄は、公私有別とし、有無償の別をも明らかにすること。
 6 「備考」欄には、入居後における経過を明らかにしておくこと。

11. 飲料水の供給簿（県様式 19）

飲料水の供給簿

県様式 19

市(区)町名 加古郡播磨町

供給月日	対象人員	給水用機械器具										実支出額	備考
		名称	借り上げ		金額	修繕		燃費費					
			数量	所有者		修繕月日	修繕費		故障の概要				
	人			円			円				円	円	
	人			円			円				円	円	
	人			円			円				円	円	
	人			円			円				円	円	
	人			円			円				円	円	
	人			円			円				円	円	
	人			円			円				円	円	
	人			円			円				円	円	
	人			円			円				円	円	
	人			円			円				円	円	
	人			円			円				円	円	
	人			円			円				円	円	
	人			円			円				円	円	
	人			円			円				円	円	
	人			円			円				円	円	
計	人			円			円				円	円	

(注) 1 給水用機械、器具は、借上費の有償、無償の別を問わず作成するものとし、有償による場合のみ、「金額」欄に額を記入すること。
 2 「故障の概要」欄には、修理の原因及び主な修理箇所を記入すること。

12. 物資の給与状況（県様式20）

物資の給与状況

県様式20

市(区)町名 加古郡播磨町

住家被害 程度区分	世帯主 氏名	基礎となった 世帯構成人員	給与月日	物資給与の品名				実支出額	備考
				ふとん	毛布	作業衣	なべ		
		人						円	
		人						円	
		人						円	
		人						円	
		人						円	
		人						円	
		人						円	
		人						円	
		人						円	
		人						円	
計	全壊							円	
	半壊							円	

災害救助費として上記のとおり給与したことに相違ありません。
年 月 日

給与責任者

印

- (注)1 住家の被害程度に、全壊(焼)、流失又は半壊(焼)、床上浸水の別を記入すること。
- 2 受領年月日に、その世帯に対して最後に供与された物資の受領年月日を記入すること。
- 3 「物資給与の品名」欄に、数量を記入すること。

13. 救護班活動状況（県様式21）

県様式21		救護班名 班長 医師		印		
月 日	市(区)町名	患者数	措置の概要	死体検案数	修繕費	備考
		人		人	円	
		人		人	円	
		人		人	円	
		人		人	円	
		人		人	円	
		人		人	円	
		人		人	円	
		人		人	円	
		人		人	円	
		人		人	円	
		人		人	円	
		人		人	円	
		人		人	円	
		人		人	円	
		人		人	円	
計		人		人	円	

(注) 「備考」の欄に二班の編成、活動期間を記入すること。

14. 病院診療所医療実施状況（県様式22）

病院診療所医療実施状況

県様式22

市(区)町名 加古郡播磨町

診療 機関名	患者氏名	診療期間	病名	診療区分		診療報酬点数		金額	備考
				入院	通院	入院	通院		
						点	点	円	
						点	点	円	
						点	点	円	
						点	点	円	
						点	点	円	
						点	点	円	
						点	点	円	
						点	点	円	
						点	点	円	
						点	点	円	
						点	点	円	
						点	点	円	
						点	点	円	
計	人					点	点	円	

(注) 「診療区分」には該当欄に○印を記入すること。

15. 助産台帳（県様式 23）

県様式23

助産台帳

市(区)町名 加古郡播磨町

分べん者 氏名	分べん 日時	助産 機関名	分べん期間	金額	備考
			月 日 ~ 月 日	円	
			月 日 ~ 月 日	円	
			月 日 ~ 月 日	円	
			月 日 ~ 月 日	円	
			月 日 ~ 月 日	円	
			月 日 ~ 月 日	円	
			月 日 ~ 月 日	円	
			月 日 ~ 月 日	円	
			月 日 ~ 月 日	円	
			月 日 ~ 月 日	円	
			月 日 ~ 月 日	円	
			月 日 ~ 月 日	円	
			月 日 ~ 月 日	円	
計		機関		円	

16. 被災者救出状況記録簿（県様式 24）

被災者救出状況記録簿

県様式 24

市(区)町名 加古郡播磨町

年月日	救出人員	救出用機械器具										実支出額	備考
		名称	借上費		修繕費			燃料費					
			数量	所有者(管理者)氏名	金額	修繕月日	修繕費		修繕の概要				
	人			円			円				円	円	
	人			円			円				円	円	
	人			円			円				円	円	
	人			円			円				円	円	
	人			円			円				円	円	
	人			円			円				円	円	
	人			円			円				円	円	
	人			円			円				円	円	
	人			円			円				円	円	
計	人			円			円				円	円	

(注) 1 他市町村におよんだ場合には、備考欄にその市町を記入すること。
 2 借上費については、有償無償を問わず記入するものとし、有償による場合にのみ、その借上費を「金額」欄に記入すること。
 3 「修繕の概要」欄には、故障の原因及び主な故障箇所を記入すること。

17. 住宅応急修理記録簿（県様式25）

住宅応急修理記録簿

県様式25

市(区)町名 加古郡播磨町

世帯主氏名	修理箇所概要	完了月日	果支出額	備考
			円	
			円	
			円	
			円	
			円	
			円	
			円	
			円	
			円	
			円	
			円	
			円	
			円	
計			円	

26. 災害救助費繰替支弁金請求書（県様式 33）

災害救助費繰替支弁金請求書

県様式33

金 円
 ただし、 年 月 日発生した による災害救助繰替支弁金

種目別区分	実支出額			算定基準による算定額			備考
	員数	単価	金額	員数	単価	金額	
1 救助費							
(1) 收容施設供与費							
避難所設置費	延 人			延 人			
応急仮設住宅設置費	戸			戸			
(2) 炊き出しその他のよる食品 給与費	延 人			延 人			
(3) 飲料水供給費	延 人			延 人			
(4) 被服、寝具その他生活必需品 の(貸)与費	世帯			世帯			
(5) 医療及び助産費	延 人			延 人			
医 療 費	延 人			延 人			
助 産 費	延 人			延 人			
(6) 被災者の救出費	人			人			
(7) 住宅の応急修理費	世帯			世帯			
(8) 生業資金の貸与費	世帯			世帯			
(9) 学用品の給与費	人			人			
小学校児童							
教科書	人			人			
文房具等	人			人			
中学校生徒							
教科書	人			人			
文房具等	人			人			
高等学校等生徒							
教科書	人			人			
文房具等	人			人			
(10) 埋葬費	体			体			
大 人	体			体			
小 人	体			体			
(11) 死体の捜索費	体			体			
(12) 死体の処置費	体			体			
(13) 障害物の除去費	世帯			世帯			
(14) 輸送費							
(15) 賃金職員等雇上費							
2 実費弁償費	人			人			
3 事務費							
合 計							

上記のとおり請求する。

年 月 日
 兵庫県知事 様

市町長

印

- 注 1 繰替支弁金請求書は、算定合計額を掲げること。
 2 内訳の欄は、該当する種目だけ掲げること。
 3 この請求書には、実施した救助の種類に応じて作成した災害救助に関する手続き等を定める規則別表第3に掲げる書類及び支払い証拠書類の写しを添付すること。
 4 算定基準による算定額欄の金額は、災害救助に関する手続き等を定める規則別表第1に定めるところにより算定した額とし、その額は、常に実支出額欄の金額以下の額となるものであること。
 5 救助の程度、方法及び期間について特別基準が認められた場合は、当該特別基準の内容が算定基準による算定額となるものであること。

e. 避難所運営に関する様式

1. 避難情報の発令及び警戒区域の設定状況一覧

避難情報の発令及び警戒区域の設定状況一覧

(年 月 日 時 分現在)

自治会	避難の状況			避難勧告又は指示		警戒区域の設定		避難の理由	避難先・ 今後 の見通し等
	避難した日時	避難世帯数	避難人数	有無	勧告・指示した日時	有・無	設定した日時		
				勧告・指示 自主避難	月 時 日 分	有・無	月 時 日 分		
				勧告・指示 自主避難	月 時 日 分	有・無	月 時 日 分		
				勧告・指示 自主避難	月 時 日 分	有・無	月 時 日 分		
				勧告・指示 自主避難	月 時 日 分	有・無	月 時 日 分		
				勧告・指示 自主避難	月 時 日 分	有・無	月 時 日 分		
				勧告・指示 自主避難	月 時 日 分	有・無	月 時 日 分		
				勧告・指示 自主避難	月 時 日 分	有・無	月 時 日 分		
				勧告・指示 自主避難	月 時 日 分	有・無	月 時 日 分		
				勧告・指示 自主避難	月 時 日 分	有・無	月 時 日 分		
				勧告・指示 自主避難	月 時 日 分	有・無	月 時 日 分		
				勧告・指示 自主避難	月 時 日 分	有・無	月 時 日 分		

2. 避難所開設・閉鎖状況一覧

避難所開設・閉鎖状況一覧

年 月 日 時 分現在

避難所 ()		避難所 ()		避難所 ()	
開設日時	開設月日時分	開設月日時分	開設月日時分	開設月日時分	開設月日時分
連絡手段	電話番号	電話番号	電話番号	電話番号	電話番号
	無線	無線	無線	無線	無線
	その他	その他	その他	その他	その他
担当者	FAX	FAX	FAX	FAX	FAX
	責任者氏名 () () () ()	責任者氏名 () () () ()	責任者氏名 () () () ()	責任者氏名 () () () ()	責任者氏名 () () () ()
収容状況	世帯数	世帯数	世帯数	世帯数	世帯数
	男	男	男	男	男
	女	女	女	女	女
	合計	合計	合計	合計	合計
備考	老人	老人	老人	老人	老人
	障がい者	障がい者	障がい者	障がい者	障がい者
	乳児	乳児	乳児	乳児	乳児
	外国人	外国人	外国人	外国人	外国人
	左ののうち	左ののうち	左ののうち	左ののうち	左ののうち
	負傷者	負傷者	負傷者	負傷者	負傷者
	その他	その他	その他	その他	その他
	計	計	計	計	計
	人	人	人	人	人

3. 避難所の状況確認報告書（現場用）

避難所の状況確認報告書（現場用）

報告日時	年 月 日 () 午前・午後 時 分
学校名	小・中学校 報告者氏名
緊急連絡先	T E L ・無線 連絡先氏名

◎報告事項

●避難所開設区域

開放区域名	使用可能状況	特記事項（主な被害状況等）
体育館	1 可 ・ 2 不可	
普通教室	1 可 ・ 2 不可	
会議室	1 可 ・ 2 不可	

☆会議室は避難所運営のための事務所として利用する。

●避難所に係る設備

設備名	使用可能状況	特記事項（主な被害状況等）
トイレ	1 可 ・ 2 不可	
水道	1 可 ・ 2 不可	
電気	1 可 ・ 2 不可	
ガス	1 可 ・ 2 不可	
電話	1 可 ・ 2 不可	
F A X	1 可 ・ 2 不可	
放送設備	1 可 ・ 2 不可	

●避難者の状況

現在の避難者	1 有 (名) ・ 2 無
	特記事項 ()

報告先	災害対策本部事務局	T E L 079-435-0355
		F A X 079-435-3398

4. 避難者名簿兼入所届

氏名一文字目：

自治会区域名：

避難者 → 名簿管理部

【避難所名：】

登録番号

【避難者の方へ】

- ・この名簿を提出することでこの避難所の避難者として登録され、生活支援が受けられるようになります。
- ・この名簿の内容に変更が発生した場合は、速やかに申し出てください。
- ・この名簿に記載した情報は、避難所運営と生活支援に関すること以外の目的には使用しません。

避難者名簿（兼避難所入所届）

入所年月日	年 月 日								
1	あなたの世帯全員を記入してください。								
	氏名（ふりがな）	性別	生年月日 （年齢）	避難 状況	血液型	介助等 の要否	傷病の 有 無	障害の 有 無	国 籍
	世帯主					要・否			
						要・否			
						要・否			
						要・否			
						要・否			
						要・否			
						要・否			
						要・否			
	住 所				電話番号				
	自治会区域				自家用車	車種（色）			
	ペット	種類	数	ナンバー					
	避難状況…該当する番号を記載してください。 ①ここに避難している ②安否は確認できているが、ここには避難していない ③安否不明 傷病の有無欄…該当する番号を記載してください。 ①糖尿病 ②高血圧 ③心疾患 ④人工透析・腎不全等 ⑤抗がん剤治療等で免疫低下を起こしている人 ⑥アレルギー配慮の必要な人 ⑦こころの病気 ⑧乳幼児の疾病・感染症等 ⑨その他 障害の有無欄…該当する番号を記載してください。 ①聴覚 ②視覚 ③呼吸器 ④内部 ⑤肢体 ⑥認知症 ⑦その他								
2	【特別な配慮が必要な事項（アレルギー等）があれば記載してください】								
3	【所有する技能・資格等があればその内容と保有する人の氏名を記載してください】								
4	自 宅 の 状 況	居住の可否	住める ・ 住めない						
		被害の状況	全壊 ・ 半壊 ・ 一部損壊 ・ 床上浸水 ・ 床下浸水 断水 ・ 停電 ・ ガス停止 ・ 電話不通						
5	緊急連絡先 （親戚等）	住所							
		氏名				電話			
6	個人情報の 取り扱い	問合せへの回答	可 ・ 不可		インターネットでの公開	可 ・ 不可			

5. 避難所退所届

退所年月日		既登録番号	
※以下は、退所する方についてのみ記入してください。			
フリガナ 氏名	性別 男・女	生年月日 M T S H 年 月 日	退所後住所 退所後連絡先(電話番号)
フリガナ 氏名	性別 男・女	生年月日 M T S H 年 月 日	退所後住所 退所後連絡先(電話番号)
フリガナ 氏名	性別 男・女	生年月日 M T S H 年 月 日	退所後住所 退所後連絡先(電話番号)
フリガナ 氏名	性別 男・女	生年月日 M T S H 年 月 日	退所後住所 退所後連絡先(電話番号)
フリガナ 氏名	性別 男・女	生年月日 M T S H 年 月 日	退所後住所 退所後連絡先(電話番号)
特記事項			
<p>事務処理欄(記載しないでください) <input type="checkbox"/> 入所時(提出時)チェック <input type="checkbox"/> 記載内容点検 <input type="checkbox"/> 整理時チェック <input type="checkbox"/> データ入力 <input type="checkbox"/> 避難者名簿の該当者見え消し 特記事項</p>			

6. 避難所状況管理表（医療救護活動用調査票）

避難所状況管理表（医療救護活動用調査票）

避難所・救護所名			
記録年月日		記録者氏名	
○外部から連絡がとれる連絡先及び連絡担当者			
連絡方法			
電話番号		FAX 番号	
電子メールアドレス			
その他（ ）			
○インフラの状況（該当するものにチェック。複数選択可）			
電気（有無及び種類）	<input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 発電機	<input type="checkbox"/> 復旧済み
水（有無及び種類）	<input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 給水	<input type="checkbox"/> 水道水 <input type="checkbox"/> 井戸水
食事（定期・不定期）	<input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 定期（ 回/日）	<input type="checkbox"/> 不定期
暖房器具（有無）	<input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有（ 台）	
トイレ（有無及び種類）	<input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 常設	<input type="checkbox"/> 仮設 <input type="checkbox"/> その他（ ）
通信（可能なもの）	<input type="checkbox"/> 一般電話 <input type="checkbox"/> 携帯電話 <input type="checkbox"/> 衛星電話 <input type="checkbox"/> FAX <input type="checkbox"/> PC メール		
○避難所周辺の治安状況（該当するものにチェック）			
<input type="checkbox"/> 良い <input type="checkbox"/> 悪化しつつある <input type="checkbox"/> 悪い			
○救護活動の有無と方法			
<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 巡回 <input type="checkbox"/> 常駐（ <input type="checkbox"/> 昼間のみ <input type="checkbox"/> 昼夜とも ）			
○救護所常駐または巡回診療を行っている支援チーム名			
支援チーム名			
支援チームの責任者の氏名と職名		氏名：	職名：
支援チームの構成人数	医師：	看護師：	薬剤師： 事務：
○避難所入所者			
現在収容人数	乳児（1歳未満）	妊婦	自立歩行トイレ不可
名	名	名	名
○受診者（受診人数 名（うち避難所外からの受診 名）			
インフルエンザの疑い	呼吸器疾患	呼吸困難	発熱（38度以上）
A型（ 名）	名	名	名
B型（ 名）	下痢	嘔気・嘔吐	発疹
	名	名	名
不眠・不安	精神科疾患	病院への搬送・紹介	
名	名	名	
○特記事項			
酸素ボンベ使用者： 名、人工透析受療者： 名、深部静脈血栓・肺塞栓症疑診例： 名			
てんかん症状のある方： 名、自動車内で宿泊している人の有無と推定人数：有（推定 名）・無			
<その他記事>			

7. 避難所日誌

避難所日誌

避難所名	
報告日時	平成 年 月 日 時 分
記入者	
責任者	

記 事						
連絡事項	*時刻、受発信の別、受発信者名、内容を記入する。					
従事者	氏 名	到 着	退 出	氏 名	到 着	退 出
		時 分	時 分		時 分	時 分
		時 分	時 分		時 分	時 分
		時 分	時 分		時 分	時 分
		時 分	時 分		時 分	時 分

f. 罹災証明に関する様式

1. 罹災証明書等交付申請書

罹災証明書等交付申請書

申請日 令和 年 月 日

播磨町長 様

申請者（証明対象者）

住 所 _____

(ふりがな) _____

氏 名 _____

電話番号 _____

下記のとおり証明書の発行を申請します。

記

罹災物件 (家屋)	所在地（地番）	
	該当する項目 に○をつける	持家 ・ 借家 ・ 貸家 住家 ・ 非住家
罹災物件 (家屋以外)	所在地（地番）	
	該当する項目 に○をつける	家財 ・ 外構、設備 その他（ ）
人身の被災状況		
被害の内容	原因	年 月 日に発生した による
	状況	
請求部数	宛に のために 部	
整理番号（再交付 の申請の場合）		

2. 罹災証明書

(整理番号:)

罹 災 証 明 書

世帯主住所	
世帯主氏名	
(追加記載事項欄①)	

罹災原因	年 月 日の による
------	------------

被災住家 [※] の 所在地	
住家 [※] の被害の 程度	<input type="checkbox"/> 全壊 <input type="checkbox"/> 大規模半壊 <input type="checkbox"/> 半壊 <input type="checkbox"/> 準半壊 <input type="checkbox"/> 準半壊に至らない (一部損壊)
(追加記載事項欄②)	

※住家とは、現実に居住(世帯が生活の本拠として日常的に使用していることをいう。)のために使用している建物のこと。(被災者生活再建支援金や災害救助法による住宅の応急修理等の対象となる住家)

(追加記載事項欄③)	
------------	--

上記のとおり、相違ないことを証明します。

年 月 日

播磨町長 清水 ひろ子

3. 建物罹災証明書

(整理番号:)

建物罹災証明書

所有者住所	
所有者氏名	
(追加記載事項欄①)	

罹災原因	年 月 日の による
------	------------

被災家屋の所在地	
家屋の被害の程度	<input type="checkbox"/> 全壊 <input type="checkbox"/> 大規模半壊 <input type="checkbox"/> 半壊 <input type="checkbox"/> 準半壊 <input type="checkbox"/> 準半壊に至らない (一部損壊)
家屋番号	建物用途
(追加記載事項欄②)	

(追加記載事項欄③)	
------------	--

上記のとおり、相違ないことを証明します。

年 月 日

播磨町長 清水 ひろ子

4. 家財等罹災証明書

(整理番号:)

家 財 等 罹 災 証 明 書

所有者住所	
所有者氏名	
(追加記載事項欄①)	

罹災原因	年 月 日の による
------	------------

罹災物件	
物件所在地	
罹災状況	
(追加記載事項欄②)	

(追加記載事項欄③)	
------------	--

上記のとおり、相違ないことを証明します。

年 月 日

播磨町長 清水 ひろ子

5. 罹災届出証明書

罹 災 届 出 証 明 書

罹災日時	年 月 日	
罹災場所	兵庫県加古郡播磨町	
罹災者氏名		
届出(被害) の内容		
本証明書を必要とする理由		
申 請 者	住 所	兵庫県加古郡播磨町
	被災者との関係	
	氏 名	

第 一 号

上記のとおり、罹災の届出があったことを証明する。

年 月 日

播磨町長 ○○ ○○

6. 罹災状況調査票

り災状況調査票

り災場所	播磨町		
居住者 (世帯人員 人)	世帯主		
電話番号		その他 連絡先	
建物形態	・専用住宅 ・併用住宅 ・店舗 ・その他 ()		
所有形態	・持ち家 ・賃貸	所有名義人	
り災状況	・全壊 ・一部損壊 ・床上浸水 () cm ・床下浸水		
	・大規模半壊 ・半壊 ・その他 ()		
備考			

調査日時	月	日	調査担当者	
	午前・午後	時		

g. その他応急対策に関する様式

1. 災害防疫終了報告書

平成 年 月 日

災 害 防 疫 終 了 報 告 書

報告市長名 播磨町

- 1 災害発生日 年 月 日
- 2 災害の原因 台風 号
- 3 被害の概要

全壊戸数	戸	床上浸水	戸
一部損壊	戸	床下浸水	戸
- 4 災害に関する措置の概要
 - (1) 防疫活動状況
 - 1) 予防に関する広報
月 日広報誌に掲載
月 日各戸にリフレットの配布 (部)
 - 2) 健康調査の方法
調査機関
調査従事者数
 - 3) 消毒方法
床下浸水家屋には、消石灰1袋を配布した。
床上浸水家屋には、消石灰1袋と逆性石鹼1本(500ml)を配布した。
 - 4) 消毒活動期間
年 月 日 から 年 月 日
 - 5) 消毒活動の従事者数(延べ人数)

月 日	人
月 日	人
月 日	人
月 日	人
月 日	人
	計 人
 - (2) その他
例) 市職員が消毒班を作り、個人家屋(10戸)の消毒を行った。
- 5 感染症指定医療機関の被害状況
被害状況を記入する。
- 6 災害防疫所要額
消毒薬 円

